

# 平成31年度 南九州市当初予算

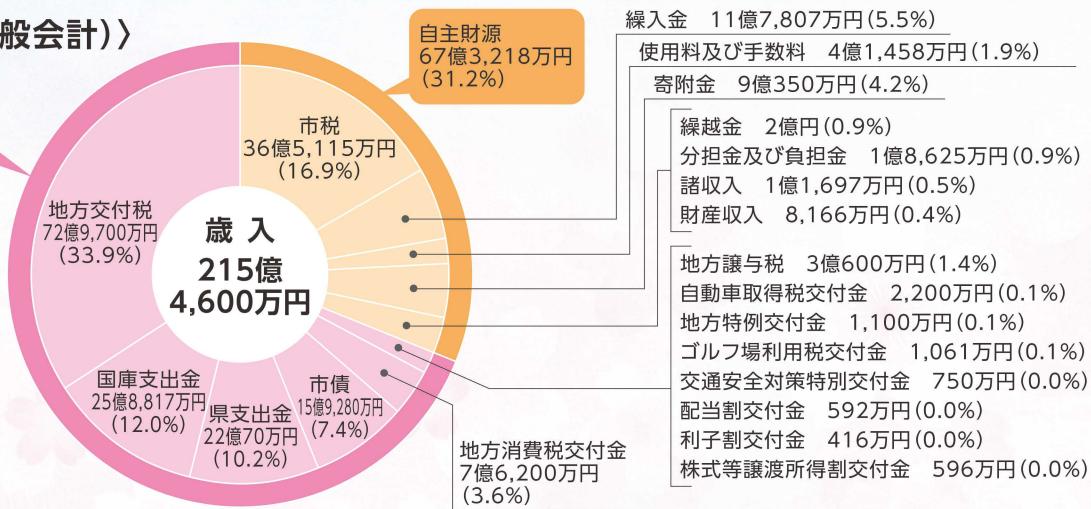
一般会計 215億4,600万円 (対前年度比 + 2.0%)  
特別・企業会計 127億1,734万9千円 (対前年度比 △2.1%)

南九州市の平成31年度当初予算は、行政改革大綱、集中改革プランおよび長期財政計画(平成29年度策定)に基づき、長期的な視点に立った財政運営に努めるとともに、第二次南九州市総合計画の基本計画に位置付けられた諸施策を確実に推進するため、効率的かつ重点的な予算編成を行いました。特に平成31年度は「高度情報化社会に対応した情報通信基盤の整備」や、「子ども・子育て環境の充実」、「学校教育施設の整備」などに予算の重点的な配分を行いました。

一般会計の総額は、前年度比2.0%、4億2,700万円増の215億4,600万円となりました。また、一般会計と5つの特別会計および企業会計(水道事業会計)を合わせた予算総額は、342億6,334万9千円で、前年度比0.5%、1億5,616万7千円の増額となりました。

## 平成31年度当初予算の歳入歳出状況

### 〈歳入の状況(一般会計)〉



歳入は、国や県から交付されるお金である「依存財源」と呼ばれるものが総額の68.8%を占めています。依存財源のうち、最も多いものは、地方自治体が一定水準の行政サービスを保つために国から交付される地方交付税で、全体の33.9%を占めており、以下、国庫支出金、県支出金、市債(借金)の順となっています。

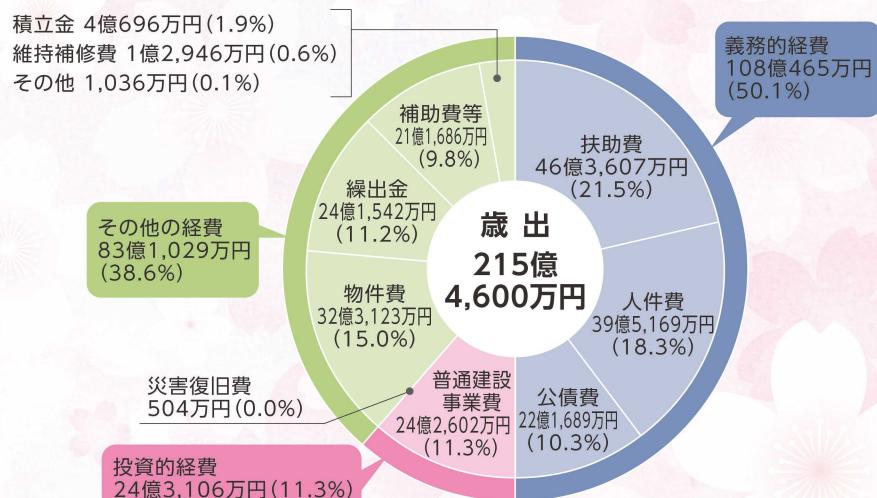
一方、市が自ら貢えるお金である「自主財源」のうち、最も多いものは、市民の皆さんに納めていただく市税で、全体の16.9%を占めています。寄附金の主なものはふるさと寄附金によるもので、前年度に対して2.3ポイントの増加となっています。

### 〈性質別歳出の状況(一般会計)〉

歳出を性質別に見ると、扶助費、人件費および市債(借金)の償還を行う公債費で「義務的経費」と呼ばれるものの割合が最も多く、全体の50.1%を占めています。前年度に対して1.9ポイントの減で、公債費、人件費の減によるものです。

道路や学校施設の整備など「投資的経費」と呼ばれる経費は全体の11.3%となり、前年度に対し1.1ポイントの減となりましたが、頑張地区統合中学校の整備事業が完成したことなどによるものです。

全体の15.0%を占める物件費については、前年度に対し2.3ポイント増となりました。これは、ふるさと寄附金事業費やスクールバス運行経費の増によるものです。



## 〈目的別歳出の状況(一般会計)〉

区分	平成31年度	平成30年度
民生費	71億5,231万円(33.2%)	71億3,128万円(33.8%)
総務費	32億2,717万円(15.0%)	25億6,211万円(12.1%)
公債費	22億1,689万円(10.3%)	23億5,990万円(11.2%)
教育費	21億5,828万円(10.0%)	25億414万円(11.9%)
農林水産業費	18億5,806万円(8.6%)	18億6,675万円(8.9%)
衛生費	17億3,065万円(8.0%)	17億3,833万円(8.2%)
土木費	13億9,599万円(6.5%)	12億7,016万円(6.0%)
消防費	9億8,218万円(4.6%)	10億7,866万円(5.1%)
商工費	2億2,981万円(1.1%)	2億242万円(1.0%)
議会費	1億7,241万円(0.8%)	1億7,493万円(0.8%)
諸支出金	4億721万円(1.9%)	2億1,528万円(1.0%)
予備費	1,000万円(0.0%)	1,000万円(0.0%)
災害復旧費	504万円(0.0%)	504万円(0.0%)

歳出を目的別に見ると、最も大きな割合を占めるのが、市民の皆さんが安心して暮らすための福祉の充実などに使われる民生費です。前年度に対し0.6ポイントの減となりましたが、全体の33.2%を占めています。

次に多いのは総務費で前年度に対し2.9ポイントの増で全体の15%を占めていますが、光ブロードバンド整備事業などへの取り組みによるものです。

以下は公債費、教育費、農林水産業費、衛生費、土木費、消防費の順となっています。

## 会計別の当初予算額

区分	平成31年度	平成30年度	比較	
			増減額	増減率
一般会計	215億4,600万円	211億1,900万円	4億2,700万円	2.0%
特別会計	115億8,490万円	117億9,510万円	△2億1,020万円	△1.8%
国民健康保険事業特別会計	57億2,200万円	59億5,000万円	△2億2,800万円	△3.8%
後期高齢者医療特別会計	5億4,160万円	5億5,210万円	△1,050万円	△1.9%
介護保険事業特別会計	51億1,670万円	50億8,030万円	3,640万円	0.7%
農業集落排水事業特別会計	7,020万円	7,540万円	△520万円	△6.9%
公共下水道事業特別会計	1億3,440万円	1億3,730万円	△290万円	△2.1%
水道事業会計	11億3,244万9千円	11億9,308万2千円	△6,063万3千円	△5.1%
合計	342億6,334万9千円	341億718万2千円	△1億5,616万7千円	△0.5%

## 平成31年度当初予算を市民1人当たりに換算すると…

市民1人当たりが負担する市税

**総額 101,930円**

※金額は、平成31年2月28日現在の住基人口(35,356人)で計算しています。(鉱産税、国有資産等所在市町村交付金は除く。)



固定資産税  
55,974円



市民税  
36,099円



民生費  
202,294円



総務費  
91,276円



公債費  
62,702円



教育費  
61,044円



市たばこ税  
5,658円



軽自動車税  
4,199円



農林水産業費  
52,553円



衛生費  
48,949円



土木費  
39,484円



消防費  
27,780円



その他  
23,319円

市民1人当たりに使われるお金

**総額 609,401円**

※金額は、平成31年2月28日現在の住基人口(35,356人)で計算しています。

# 平成31年度当初予算の特徴

南九州市では、将来都市像である「人と自然が共生する 活気あふれる 住みよいまち 南九州市」を目標として掲げ、南州市総合計画に基づきまちづくりを進めています。ここでは、平成31年度の当初予算の特徴について新規事業を中心に紹介します。



## 市の魅力発信

### 1 首都圏で知覧茶などの情報発信を行います。

【3793万円】 知覧茶をはじめとする特産品の新たな販路拡大のヒントとして、昨年に引き続き浅草の「まるごとにつぼん」に出演し、市のPRおよび情報発信を行います。



### 1 光プロードバンド整備事業

【2億3800万円】

ブロードバンドサービス未提供エリアにおいて、通信事業者が整備する光ファイバー網費用の一部を市が負担し、市内における情報通信格差の解消を図ります。

### 2 集落支援員を増員します。

【700万円】

市内各地区の状況を把握し、地域力の維持・強化を図ることを目的とした集落支援員を2人設置し、地域自治組織の活性化を推進します。

## 教育施設・環境の充実

### 1 改訂に伴い教科書・指導書を購入します。

【3214万円】

小学校の教科用図書の改訂に伴い、教師用の教科書や指導書、各学校のデジタル教科書を購入します。

### 2 栗ヶ窪小学校の改修工事を行います。

【1億7202万円】

老朽化が進んでいる栗ヶ窪小学校の校舎などの大規模改修工事を行い、良好な学習環境を確保します。

### 3 キャリア教育「夢の懸け橋」事業

【330万円】

中学生を対象とした講演会を開催し、子どもたちのキャリア発達を支援します。

## 暮らしやすいまちづくり

### 2 風しんの予防・感染拡大対策に取り組みます。

【1863万円】

抗体保有率の低い世代に対し、抗体検査や予防接種を行います。また、妊娠を希望する女性とその同居者に予防接種費用の一部を助成し、風しんの感染拡大を防ぎます。

### 2 市のブランドイメージの構築に取り組みます。

【683万円】

南九州市の魅力を効果的に発信するために、統一デザインのツールの制作や、市民を対象とした写真撮影・SNS講座などの開催をします。

### 2 風しんの予防・感染拡大対策に取り組みます。

【1863万円】

抗体保有率の低い世代に対し、抗体検査や予防接種を行います。また、妊娠を希望する女性とその同居者に予防接種費用の一部を助成し、風しんの感染拡大を防ぎます。

### 2 市のブランドイメージの構築に取り組みます。

【683万円】

南九州市の魅力を効果的に発信するために、統一デザインのツールの制作や、市民を対象とした写真撮影・SNS講座などの開催をします。

### 2 風しんの予防・感染拡大対策に取り組みます。

【1863万円】

抗体保有率の低い世代に対し、抗体検査や予防接種を行います。また、妊娠を希望する女性とその同居者に予防接種費用の一部を助成し、風しんの感染拡大を防ぎます。